



祖父母らの前で歌と踊りを披露する園児



祖父母らにプレゼントを手渡す園児

# まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

南ヶ丘第二保育園で祖父母参観

## 歌や踊り披露「いつもありがとう」

「敬老の日」を前にした9月13日、南ヶ丘第二保育園で祖父母参観が行われ、0～5歳の園児61人が、祖父母らの前で歌や踊りを披露しました。同参観は、敬老の日にあわせて祖父母や地域の老人クラブの人を招き、日ごろの子ども姿を見てもらおうと、毎

年行われています。参観では、園児がクラスごとに分かれて、日ごろ園で歌っている歌や踊りなどを披露。「カッパがわらう」や「もったいないばあさん音頭」などを、振付を交えながら元気いっぱいに歌い、祖父母らはこやかに見つめていました。

また、園児が染めた紙を貼り、「いつもありがとう」などのメッセージを書くなどして作ったうちわを祖父母らにプレゼント。最後には、老人クラブの人に教わりながら「炭坑節」を全員で輪になって踊り、会場は一体感に包まれていました。



川田市長(右)、小北議長(左)と記念撮影する福井清栄さん

### 今年度18人が100歳に

9月16日の「敬老の日」に先立ち、14日には川田翔子市長と小北幸博議長が、今年度に100歳を迎えられる市民18人のうち、5人のご自宅を訪ね、長寿のお祝いをしました。今年11月に100歳を迎えられる福井清栄さんは、市長と議長からお祝い状と記念品を贈られると、「ありがとうございます」と笑顔で受け取られました。福岡県出身で、子ども3人、

市長と議長 5人訪問し祝う

孫6人、ひ孫10人に恵まれた福井さんは、現在一人暮らし。近所に住む娘さんの協力を得ながら、老人会や松花堂庭園でのお茶席に参加するなど、外出も楽しんでおられます。長生きの秘訣は、20年続けている1日2回の体操や、好き嫌いなくバランス良く食べることのほか、「良い事も悪い事もあるけど、良い事だけ思い出すの。くよくよしない」と話され、「この歳まで生きさせてもらえたのはみんなのおかげ」と、感謝の思いを語られました。

## 「今日のおかず」は…音声検索に挑戦

### はじめてのスマートフォン体験型講習会

スマートフォンに不慣れな人が使い方を学ぶ講座「はじめてのスマートフォン体験型講習会」が9月10日、橋本公民館で開催され、市民延べ22人が参加しました。同講習会は、市の主催で、株式会社Honkiが講師を担当。貸出スマートフォンを使って、電源の入れ方から、電話やカメラ、SNSの使い方など、基礎から学べる内容としています。インターネットの使い方では、スマートフォンに話しかけるだけで文字入力ができる機能「音声検索」を体験。「今日のおかず」と話しかけると、検索結果の正確性と現れた情報量の多さに驚嘆。この

他にアプリのインストール方法など、講師に質問しながら、興味津々でスマートフォンの操作方法を学んでいました。畑中美代子さん(85)は、「これからスマホを買いに行きます。旅行先で写真をたくさん撮るのが楽しみです」と話していました。



講師の説明を聞きながらスマートフォンを操作する参加者

同講座は、令和7年1月まで市内各所で開催。申し込みは、株式会社Honki受付窓口(☎0120-121-525)へ。

## 今月のこの人

### 弱視の介護福祉士 第一線で活躍



約6年前に弱視で視覚障害1級に認定されたが、今年、介護福祉士試験(国家資格)に合格。市内在住。

北島航太さん

「施設入居者から、あなたが介助に来てくれてよかったと言われるとうれしい」と日々の充実感に笑顔を見せる北島航太さん。20歳の頃から緑内障を患い、徐々に視野が狭くなる中、23歳で現在勤務する施設に就職。無資格では食事や入浴などの身体介護ができないもどかしさから資格取得を決意し、拡大読書器

の使用や設問の回答にかかる時間配分を訓練するなど工夫を重ね、この春、介護福祉士試験に合格しました。普段は入居者の介護のほか、実習生の現場研修なども行う北島さん。部屋ごとの物品や家具の配置は触って覚えこみ、ときには冗談を言って入居者をなごませるなどのコミュニケーションも欠かしません。また介護計

画の作成の際には、入居者の生活課題をふまえてマネージャーと相談を行うなど、職員同士の連携も大切にしています。今後については「介護分野にこだわらず知識を深め、なんでも彼に聞けばわかるよ、と言われる人になりたい」と力強く語りました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。